

先生

畑 中 佳 恵

西日に炙られた講義棟ここだけ時計のない教室で

これは高校までの数学ですから全部そうですからと真顔で念押しなされた

サンスクリット語の聴講よりも後悔が深かった

けれど親友お勧めの生物学とて大差ないはずだった

存分に折り返し蛇行して黒板を埋めたエネルギー計算

大層レトロな仕組みだという炉の略図もるとも

心を平らにして書き写した学部一年の私

コンクリの彼は何れも化石燃料の賜物で

その埋蔵量は掘削能力が決める説はちよつと気に入った

あつあつの湯沸かし器から産まれるもの捨てるもの捨てられぬもの

ついでに水の偉大さ

失せ物となったノートはさておき

そこだけ理解した雑談を藁のように手繰つては咀嚼する日が来てしまいました

袖ふれあう密はともかく

どんなことでも良いので原子について調査せよとのこと

先輩のご発表は江戸後期の化学用語

修十二年の出番を待たず出奔したい文学のゼミである

ところで新聞をめくる者はいないのかと毎回毎回おつしやるから

観念して手を挙げるのとタバコの煙がぶはつと拡がった

黒々とうづくまる縮刷版から錬金術と新型爆弾と平和利用なるものと

夏の書庫は風が入らないことを報告するとまたぶはつと拡がった

伸びに伸びて活字になったリスト

調べて書けば大きくは間違わない

断言なさるからにはそうなんだろうと単純であつた私は

とびきり頑丈でとびきり長いレールを敷いてもらつたのですね

窓全開のプレハブ棟一〇一教室脇の小径をすり抜けたときも足裏にあつた

見目麗しく堅固な奴隷が神話とともにはじけた日

海にも土にも還れぬ骸と化した時

当事者になるとはこういうことかと文字通り歯を鳴らしました

何を分かち合わずとも

平等に貫くもの循環するもので私たちは結わえられてしまったと

隣人をあまりにも知らなかつたのです先生

食べさせられるものそうでないもの行つていいよと言える場所言えない場所

乱暴に線を引いて生きろとは教わらなかつた

しかし目を瞑つて生きろとも教わらなかつた

あなたは本当に内側ですか内側は本当にあなたでしようか（本当に痛いのですか）

折り決られ紙とインクで延ばす誰のものでもない影

次の一〇年も

ひとさまに向け文を成さないまま世界に暴力をふるつているかもしれませぬ先生